

八洲学園大学国際高校の皆さんの施設見学

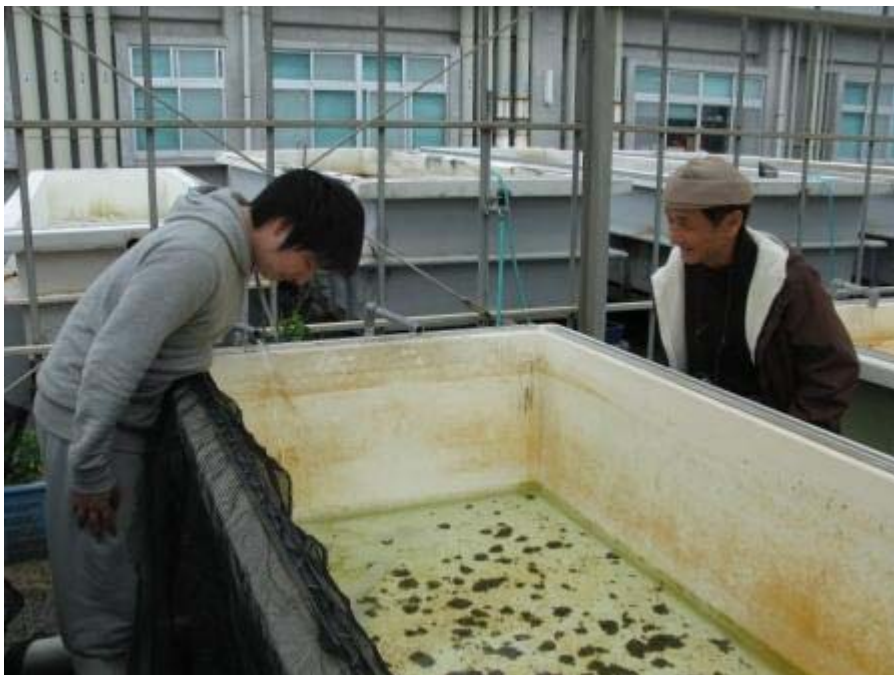
2011年3月7日

長崎先生と生徒さん、計2名(第一陣)、
宮城先生ほか引率教員と生徒さん、計約60名(第二陣)が
授業の一環で当センターを見学されました。

第一陣の長崎先生と生徒さん



生簀(左)とヤイトハタ親魚水槽の前(右)でのツーショット
大阪生まれの生徒さんは、沖縄の綺麗な海に感激していました。



ヒメジャコの稚貝を観察。



ふ化後約90日の出荷前のマダイ種苗を観察。
自宅で熱帯魚(海水魚)を飼っているとか。
生徒さんには、たくさん質問して頂きました。

第二陣の先生方と生徒さんたち (バスの中で)





ヒメジャコの子魚と親魚の水槽を観察。
紫色の外殻膜のヒメジャコを見て、「"紅いもタルト" だあ！」と言う生徒さん。
「なんと自由で独創的な発想！」と案内人は感動しました。
このコピー、次回の説明に使わせて頂きます。



生簀の魚の観察に向かおうとしましたが、
大陸高気圧の張り出しで海は大時化、生簀は大揺れ。
あまりの強風に途中退却となりました。
天気の良い日にまたどうぞ。



**ヤイトハタ親魚水槽で。
大きなヤイトハタに驚き！**



ウニの水槽を観察。豆粒のようなウニが見えるかな？



シラヒゲウニの中間育成用の餌(海藻:オゴノリの仲間)を培養する水槽で。
ちよいつまんで、試食！
海藻サラダは健康に良いですね。
シラヒゲウニの気分になれましたか？



シラヒゲウニ(左)とチョウセンサザエ(右)の中間育成水槽で、
チョウセンサザエの稚貝を見て、「タニシ！！」
生き物は時間をかけて少しずつ成長します。
長い目で見てあげて下さいね。

お疲れ様でした。

限られた時間での駆け足の見学でしたが、勉強になったでしょうか？

これを機会に海の生物に感心を持って頂けると幸いです。

海の生き物、海、自然を大切にして下さい。